



令和6年8月9日(金)

学校教育目標 **なかよく がまん強く たのしく**

第11号 文責：校長 真崎 哲也

諫早市立長田小学校  
859-0312  
諫早市西里町800番地

電話  
23-9010(職員室)  
24-8267(校長室)  
23-9059(FAX)

電子メール  
e-nagata@isahaya-  
snet.ed.jp

Web サイト  
<https://www.isahaya-snet.ed.jp/school/e-nagata/>



ホームページには、毎日の子どもの様子や学校からのお知らせ、各種便り等を掲載しています。ぜひ活用ください。

## 〈8月の生活目標〉

計画を立てて楽しい夏休みを過ごそう。

## ミニ美術館

子ども達の図工作品紹介です。  
発想豊かな力作

です!!

※本日閉館

【トピックニュース】

8月9日 平和集会



## 夏休みの折り返し～まだまだ暑さ厳しいです～



残暑お見舞い申し上げます。夏休みも折り返し、立秋を過ぎましたが厳しい暑さが連日続いています。「今年は暑いね!!」は、毎年の挨拶文句ですが、今年はその言葉がぴったり当てはまるような気がします。日射しが暑いだけでなく、空気が熱く、息苦しささえ感じられます。これくらい大丈夫と甘く考えず、十分用心するように子ども達にも伝えました。また、冷房づけ、オリンピック夜更かしの毎日ではこれまた体調によくありません。メリハリのある規則正しい生活を心掛けさせてください。

米作りでは、この時期「中干し」と言って、1週間ほど水を抜き、地面が割れるまで乾かします。稲は水を求めて根を下へ横へ伸ばしていきます。そして1週間後、水を得た稲は生長の速度をぐっと上げていきます。取立て不足をつくり、がまんさせ、自らのがんばりや工夫を促すことで子どもたちも成長していきます。

また、7月23日からの「保護者面談」には、大変暑い中、またご多用な中にお時間を頂くいただきありがとうございました。1学期のお子様の様子が十分に伝わったでしょうか。学校としましては、新学年からの4か月のお子様の状況と夏休みの取組について、保護者の皆様と対話する貴重な機会と考えています。面談の時期や方法、内容等についてご意見がありましたらお知らせください。



## 平和を考える・・・～長崎原爆の日～

今日9日は、「長崎原爆の日」です。大変暑い中でしたが体育館に集まり、全校みんなで戦争や平和について考えました。各学級でも自分にできる平和について考えました。全校集会では以下のようなことを子ども達に伝えました。今日はぜひご家庭でもお子様へ、保護者の皆様の想いや経験を語り掛けていただければ幸いです。

今から79年前の今日、8月9日に長崎市に、原子爆弾が落とされ、多くの、大切な命がなくなりました。たった一発の爆弾によって7万4千人もの方が一瞬で亡くなったのです。長崎市に原爆が落とされた後、となり町である、みんなが住むこの諫早市にも原爆だけがをされた方が列車で運ばれてきました。そして亡くなりました。亡くなった方を火葬場で焼きました。その火葬場があった所に原爆慰霊碑が建てられています。原爆で亡くなられた方にゆっくり眠ってくださいというお墓のようなものです。そこで、明後日11日に「原爆慰霊祭」があり、児童代表として、4年2組の高橋凜君が平和への誓いを発表します。戦争や原爆は、よそで起こったことではなくみなさんが住む諫早市、そして長田にも大きく関係しています。みなさんは長崎県で生まれ、育ちました。だからこそ、戦争や原爆についてしっかり勉強し、平和な世界をつくることについて考えていかなければいけません。原子爆弾は、戦争という国と国の争いの中で使われました。戦争に勝つためにたくさんの人を傷つけ、殺したのです。なぜ、人はそんなおろかなことをするのでしょうか。

それは、自分の幸せだけを考えるからです。相手の幸せを考えないからです。そうではなく、みんなが幸せになる方法を考えればいいんです。そのためには、いろいろな人と出会い、自分とは違う生き方や考え方を学んでください。たくさんの本を読んで知らない事を知ってください。高校生や大学生になったら、外国に行って勉強するのもいいでしょう。働くようになったら、世界中を旅行するのもいいですね。今まで見たことがないものを見たり、自分とは違う考えをもった人に出会ったりした時、人は感動し、驚きそして成長するんです。

自分の興味のあることや好きなことをするのは気持ちのいいものです。好きな人とだけ遊ぶ、好きなゲームだけをやる、好きなものだけを食べる・・・つまり、自分が楽しいならいい、自分が幸せならいいという考えです。でも、勇気を出して、苦手なことや嫌な事にも挑戦をしてみるんです。興味のないこともやってみるんです。苦手だけど、マラソンをしてみる。嫌いだけどピーマンを食べる。あまり遊ばない友達に声をかけてみる・・・そうすると、「あれっ、結構いいな」と思う事があります。それが知らなかったことを知る、新しい考えに出会うということなんです。そうすると他の人の考えが少し分かるようになるんです。周りの人のことを考えられるようになるんです。そんな人がいっぱい増えたら、学校はもっと楽しく、みんなが幸せになるはずなんです。もっと言えば、この世界から、戦争や争い、けんかは無くなっていくのではないのでしょうか。

学校という所は、そのことを学ぶ所だと校長先生は思います。楽しいこともあれば、きついことや嫌なこともある。いろいろな学習や体験を通して、みなさんは、自分だけではなく、みんなが幸せに生きる方法を勉強しているんです。

